



成果 2

今年の大祭はコロナ禍の影響で神事の実施となり、剣鉾を含む神輿行列の巡幸は残念ながらできませんでした。更に地域のイベントなどで鉾差しを披露することもできませんでした。

しかし、当会の会員数は68名にまで増え、剣鉾の修理・維持管理等の地道な活動は続けました。

又、支援金で練習用鉾の鈴を製作することにより、剣鉾の整備もできました。鉾差しの練習も感染防止を徹底しながら実施でき、合計8回の練習会で延べ150人の参加者がありました。これにより、差し手の新規参加や鉾差し技術も向上しました。

今後の課題

石座神社での鉾差しは復活できましたが、まだまだ町内の差し手の人数や技術は充分ではなく、他神社の方々による協力・支援が必要な状態です。

剣鉾の保存・管理技術もまだ充分とは言えず、維持継承できる状態ではありません。引き続き鉾の管理技術の普及活動や鉾差しの練習会を通して、石座神社に伝わる剣鉾文化を守り、発展させたいと思います。更に練習会には女性の参加もあり、祭り文化の中において、今後は女性の活躍も実現させたいと思っています。

また、岩倉周辺には剣鉾を持つ神社がいくつかありますが、数年前までの石座神社同様、鉾差しではなく担いでの巡幸が現状です。それらの神社からも鉾差しの復活を願う声もあり、当保存会が協力していくことも必要だと考えます。

現在剣鉾を有する他神社との連携も深め、鉾差し文化のネットワークを今後は維持拡大していきたいと思っています。

